



トークイベント

「マンガは我々に何をもたらしてくれるのか
～マンガのビジネス・社会的価値～」の開催について

2025
2月22日(土)
会場 京都経済センター
14:00-15:20(受付13:30)
トークイベント
複製原画の展示あります!
～マンガのビジネス・社会的価値～

講師
保手濱 彰人氏
株式会社ファンダム
代表取締役会長

講師
吉村和真氏
京都精華大学理事長、
マンガアーカイブ機構理事

MC
中山 淳雄氏
エンタメ社会学者
株式会社 Re entertainment
代表取締役社長

京都市では、コンテンツ産業振興の取組として、KYO-CCE Lab（京シーシーイーラボ）事業を実施しています。

この度、本事業の取組の一環として、産業として拡大を続けるマンガについて、マンガを通じて得られる学びや、マンガ資料の保存、展示会など利活用について掘り下げるトークイベント「マンガは我々に何をもたらしてくれるのか～マンガのビジネス・社会的価値～」を開催します。

また、会場では、高精細複製原画の展示も予定しています。世界から注目を集める日本のマンガについて、有識者が改めてその意義を掘り下げる貴重な機会となっておりますので、是非、御参加ください。

1 日時

令和7年2月22日（土）午後2時～午後3時20分

2 会場

京都経済センター 3-F

〒600-8491 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78

アクセス：<https://kyoto-kc.jp/access>

3 登壇者・内容(予定)

(1) 登壇者

- ・吉村 和真氏（学校法人京都精華大学マンガ学部 教授・理事長、一般社団法人マンガアーカイブ機構 理事）
- ・保手濱 彰人氏（株式会社ファンダム 代表取締役会長）
- ・中山 淳雄氏（エンタメ社会学者、株式会社 Re entertainment 代表取締役社長）

(2) 内容

〈前半〉プレゼンテーション

- ・マンガ及び原画資料アーカイブの取組について
- ・株式会社ファンダムが取り組むマンガ原画を活用したビジネス展開について
- ・マンガ原画展の市場動向や背景について

〈後半〉トークセッション

- ・マンガがもたらすビジネス価値、社会的価値
- ・マンガを通じて得られる学び

●会場では、京都国際マンガミュージアム、株式会社ファンダムの御協力により複製原画の展示を予定しています。

※展示作品の詳細については、決定次第イベントページにてお知らせします。

イベントページ：<https://x.gd/hliRA>

4 申込方法

WEB (<https://x.gd/hliRA>) から、必要事項を記入のうえ、2月21日(金)正午までにお申込みください。

5 定員

50名(事前申込制/先着順)

6 参加費用

無料

7 注意事項

- ・申込時は、メールアドレス等の連絡先を正確に入力してください。
- ・録画、録音、撮影はお断りします。
- ・当日の進行状況により、予定時刻前にイベントを終了することがあります。

8 主催等

主催：京都市

運営：KYO-CCE Lab事務局 [運営：株式会社ツクリエ]

9 問合せ先

KYO-CCE Lab事務局 [運営：株式会社ツクリエ]

TEL：075-257-5722



【KYO-CCE Lab (京シーシーイーラボ) について】

京都で取り組む、コンテンツの持続的な創造・発信と利活用のエコシステム構築のためのプロジェクト。

京都国際マンガ・アニメフェアをはじめとしたコンテンツ産業振興事業への取組を通じて築いてきたネットワークの更なる連携強化、コミュニティ構築を通じて、良質なコンテンツの持続的な創造・発信、利活用等の好循環の構築を目指し、課題に対するアイデアソンセミナー、交流会の開催、情報発信等を行っています。

また、クリエイター・コンテンツ企業向けの常設の相談窓口も設置しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

<https://kyo-ccelab.city.kyoto.lg.jp/>

【登壇者プロフィール】



吉村和真（よしむら かずま）氏
学校法人京都精華大学 教授・理事長
一般社団法人マンガアーカイブ機構 理事

1971年、福岡県生まれ。専門は思想史・マンガ研究。2001年より京都精華大学に入職。現在、同大学マンガ学部教授。2024年末に学校法人京都精華大学理事長に就任。

近著に『マンガ・スタディーズ 基本の30冊』（編著、2020年）、『マンガノミカタ―創作者と研究者による新たなアプローチ』（共著、2021年）など。「マンガを読む」ことが日常になるまでの歴史とそれが人間に与える影響を多面的に研究中。

日本マンガ学会や京都国際マンガミュージアムの開設をはじめ、マンガ研究の環境整備に奔走。近年は、これまでの研究成果を社会還元すべく、「一般社団法人マンガアーカイブ機構」の理事、国や自治体の各種委員・アドバイザーを歴任するなど、産官学連携を通じた活動を展開している。



保手濱彰人（ほてはま あきひと）氏
株式会社ファンダム 代表取締役会長

東京大学中退の連続起業家、思想家。「武器としての漫画思考」著者。学年最下位の成績から漫画を使って一年で東大合格した手法や、借金3億・売上ゼロから5年で年商30億の企業を作り上げた方法論について、余すところなく語る。社会を良くする本質的な真理を探究しており、「[真理探究塾](#)」や「[ホテスクール](#)」などのメディアを運営中。

IT領域からアニメ産業まで幅広く事業を手がけ、直近では小規模店舗ながら、オープン直後で月商800万円を達成した「かきのおきて」などの事例がある。現在は株式会社ファンダム！の代表取締役会長を務め、「鬼滅の刃」のご当地グッズを年間で700万個販売するなど、コンテンツ産業の革新的ベンチャー企業として成長中。2024年、大本山弘法寺にて得度を受け、出家。仏教と漫画を融合した教を説く。



中山淳雄（なかやま あつお）氏
エンタメ社会学者、株式会社 Re entertainment 代表取締役社長

エンタメ社会学者、実業家（2021年、エンタメ企業のコンサルティングを行う株式会社 Re entertainment 創業）と研究者（早稲田博士・慶應・立命館大研究員）、政策アドバイザー（経産省コンテンツ IP プロジェクト主査）を兼任しながら、コンテンツの海外展開をライフワークとする。以前はリクルート・DeNA・デロイトを経て、カナダ・シンガポール駐在しながらバンダイナムコ・ブシロードでメディアミックス IP プロジェクトを推進。主な著書に『クリエイターワンダーランド』『エンタメビジネス全史』『推しエコノミー』『エンタの巨匠』『オタク経済圏創世記』など。